

4月1日・4日

05



啓発グッズを配布する参加者

防犯意識向上の啓発運動

春の全国地域安全運動の一環として、ニシムタ前とミネサキ前で街頭キャンペーンが行われました。キャンペーンには安全・安心活動推進モデル地区に今年度から指定された西小路1区・2区の住民や串間警察署、防犯協会、市の職員ら約15人が参加。買い物客に声を掛けながら啓発グッズを手渡し、近年急増している特殊詐欺防止などの注意を呼びかけました。



福島地区・西小路2区
はまつき よしのぶ
浜月 義延さん

さまざまな方に注意を呼びかけました。防犯の意識があれば未然に防ぐことができますと思います。今後も積極的に啓発運動をしていきたいです。

3月31日

04

春を感じるウォーキング

串間元気クラブ主催の『第8回福島川お花見ウォーキング』が開催されました。蔵元橋河川敷から4kmと8kmの2コースに分かれて、市民ら約70人が参加。参加者らは春の心地よい風と福島川沿いの桜が咲き誇る中、家族や友人らと会話を弾ませながらウォーキングを満喫していました。



桜を楽しみながらウォーキングを満喫した参加者ら



串間市健康づくりサポーターの皆さん

風が少し強かったけど気持ちよく、桜も咲いていて、わきあいあいと話しながら楽しめました。

4月12日

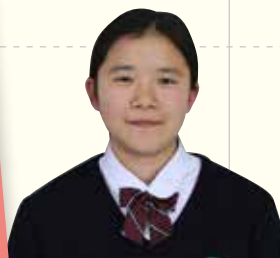
06



意見交換会の様子

新入生と卒業生語り合う

今後の高校生活を送る上での過ごし方を考える事を目的として、福島高校新入生68人と卒業生の会「潮(うしお)会」が意見を交換し合う「新入生と語る会」がアクティブセンターで開催されました。はじめに新入生へ応援メッセージの講話があった後、グループに分かれて意見交換会が行われ、新入生は高校生活での目標や将来の夢など、目を輝かせて語り合っていました。



福島高校1年
いしざき ゆの
石崎 裕乃さん

先輩方の話を聞いて、人とのつながりを大事にしていきたいと思いました。声優と音楽家が将来の夢なので、かなえられるように頑張っていきたいです。

災害時の救援ルート確保へ協定締結

3月26日、大規模災害時に放置された車両などを撤去するため、県レッカー事業協力会県南支部と「災害時における車両移動等の協力に関する協定」を締結しました。この協定により、災害対応のための救援ルートを確保し、迅速な災害対応を行うことができるようになります。



レッカー事業協力会と協定を締結した調印式

3月17日

01



避難タワーで行われた住民説明会

市内初の津波避難タワー

崎田地区に建設していた本市初となる津波避難タワーが完成し、住民説明会が行われました。避難スペースは8mの高さを確保し、約130人が避難可能。同地区は南海トラフ地震が発生した場合に、津波により2～5mの浸水が想定されています。説明会には約40人が参加し、災害への備えを確認しました。

3月23日

03



母馬に寄り添う春駒

都井岬で春駒すくすくと

都井岬に生息する国の天然記念物「岬馬」の今年初となる雌の子馬「春駒」が生まれました。野生馬を管理する都井御崎牧組合の監視員が観光客から連絡を受け小松ヶ丘で確認。生まれた春駒は母馬にぴったりと寄り添いながら歩き、かわいらしい姿を見せていました。今年は、6月頃までに約15頭が誕生する見込みです。



都井岬ビジターセンター
おおぐま ひろま
大隈 大輝さん

暖冬だったので早いかなとは思っていましたが、3月に生まれるのは珍しいです。子馬は最初の1年間が大変なので元気に育ててほしいです。

くしま プレイバック

3月17日～4月12日

まちで起こったあんなことやこんなこと。
串間の1カ月を振り返ります。



本城地区・浦
かまだ よしのり
鎌田 芳徳さん

海のすぐ近くに住んでいるので、タワーができ安心感があります。今後は津波に備えるため、地区でもタワーを使った避難訓練や防災講座を開いていきたいです。

3月23日

02

有明小児童が熱気球体験

高松漁村広場で有明小学校の児童や保護者ら約60人が熱気球の搭乗体験を行いました。同校からの依頼により南日本酪農協同の協力で実施され、児童らはロープで固定された熱気球に3、4人ずつ順番に搭乗。十数メートルの上空を飛行すると、歓声をあげながら雄大な景色を見回すなど空からの眺めを楽しんでいました。



児童らを乗せて浮かび上がる熱気球



有明小学校5年
おくむら しずく
奥村 満さん

初めて気球に乗りました。少し怖かったですが、上空から見る高松の海がとてもきれいでした。今度乗ることがあったらもっと高くまで上がってみたいです。